



沖縄県知事選挙特報「響魂」

滋賀県大津市梅林
1丁目3番30号
滋賀自治労連
組織部発行

電話077-527-5511

FAX077-527-5522

E-mail: sigaziti@mx.biwa.ne.jp

ホームページ: <http://shiga-jichiroren.com/>

沖縄の大地が吠えた！歴史が動いた！！

玉城デニー 新知事誕生



玉城デニー
6分前

圧勝!! 過去最高得票

沖縄県知事選挙が終わりました。誰に投票した人であれ、沖縄の未来を真剣に考えた一票だったと思います。その想いをこの一身に受け止めます。この勝利は玉城デニーの勝利ではありません。みなさんの勝利です。たたかいはこれから。ともに#新時代沖縄へ進みましょう。まきてーないびらんどー！

【玉城デニー氏公式 Facebook 配信より】



県民の思いを、しっかりと政府に突き付けていきたい

持ち前の誠実さ、爽やかさ、ノリの良さ、直球勝負で若者・無党派層の心もガッチリ！

沖縄県知事選			
当	玉城デニー (58)	無新	396,632
	佐喜真淳 (54)	無新	316,458
	兼島俊 (40)	無新	3,638
	渡口初美 (83)	無新	3,482

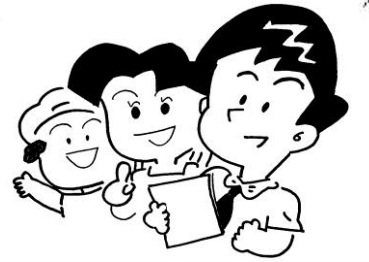
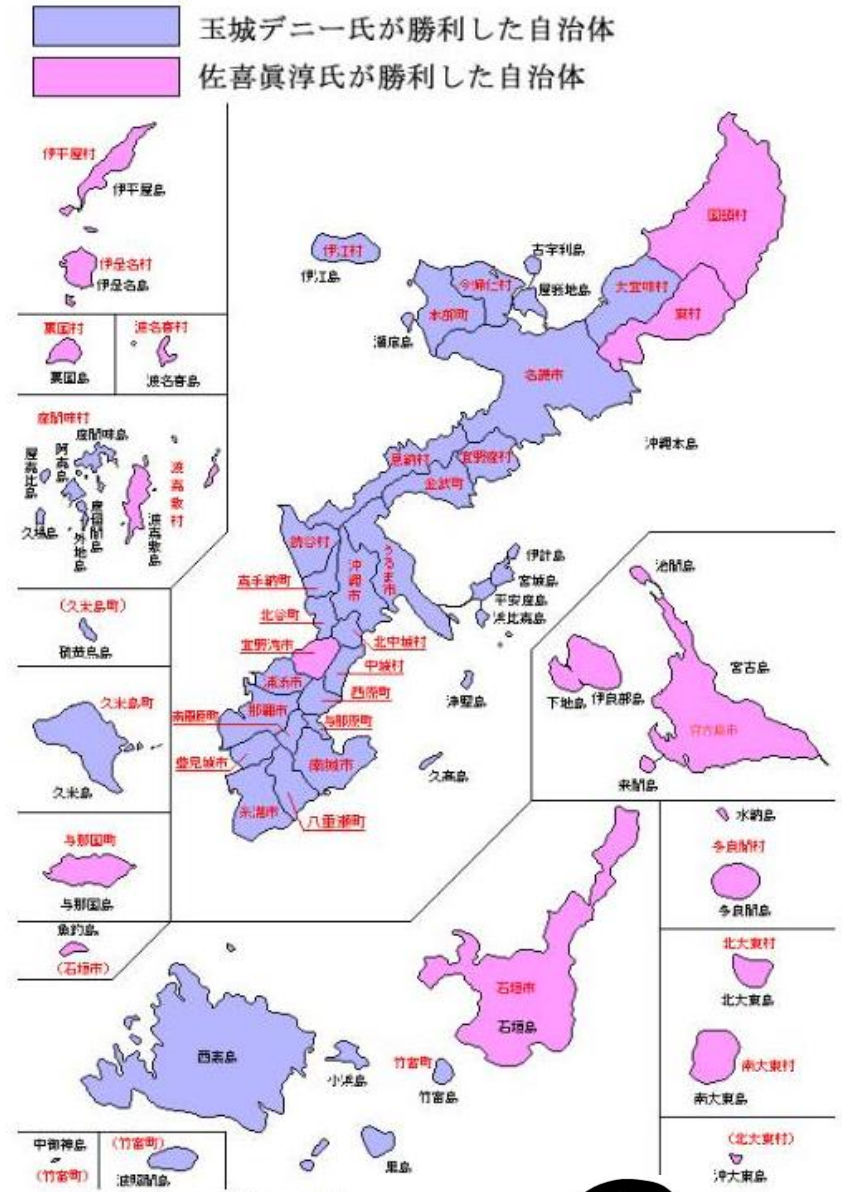


出馬表明で遅れをとった玉城陣営でしたが、終始正々堂々と争点をぼかさず、辺野古新基地建設反対はじめ翁長県政の継承をぶれずにアピール。中盤から後半にかけては、相手陣営の卑劣な誹謗中傷・デマ攻撃と有権者の良心をもてあそぶ団体票の締め付け攻撃に県内外から怒りの声が爆発し、当初は静観を決めていた故・翁長知事の奥様の樹子夫人も、9月22日の「うまんちゅ大集会」で「マグマを噴出させてでも」とデニー候補への支持拡大を訴えて怒りを爆発させるなど、県民感情とデニー陣営の勢いに火をつけました。終盤は選挙ポスターを新時代沖縄から翁長知事とのツーショット版に切り替え、県民の魂を響かせました。辺野古新基地をめぐるっては、本土の公明党本部の方針に背いてデニー候補を応援する人が3割程度あらわれました。また、「デニってる?」「デニってる!」のキャッチフレーズで若者の心をつかみ、「誰一人取り残さない」政策を丁寧に訴え、今までにない新しいタイプの知事像で無党派層の7割の支持を集め勝利しました。

嘘やごまかしは、真実に勝つことはできない！

一方で、自民、公明、維新、希望の各政党から推薦を受けた、前宜野湾市長のサキマ氏は、辺野古新基地問題には一切触れず、「携帯電話料金の4割削減」「沖縄にプロ野球チームを創設」など、およそ知事選とは全く関係のない公約で争点をごまかし、国家権力を総動員した安倍政権の強力な支援による期日前投票（組織・団体票）で逃げ切りを図りましたが、県民の良心や信念の前に失敗しました。また、知事に携帯電話の料金を下げる権限がないことが発覚すると途中でこれを取り下げるなど一貫性がなく、県内のほとんどの自治体で玉城氏が勝利する結果となりました。

相手陣営の応援に何度も沖縄入りした小泉進次郎氏と菅官房長官の失態も目立ちました。小泉氏は人寄せ目的で安室奈美恵氏の名前を連呼しましたが、ファンが引退を惜しみ悲しんでいる中、デリカシーのなさが市民の怒りを買いました。また、翁長知事に冷たく侮蔑的な態度をとってきた菅官房長官にいたっては、辺野古の「へ」の字さえ触れず、延々と携帯の値下げの話をする節操のなさに市民から「帰れ」の怒号が飛び交う始末でした。



本当のたたかいはこれから！

安倍政権の巻き返しに対し、デニー県政を全国から支えよう！

法的手続きをとる前に、県と協議をする姿勢を求める。裁判の乱発は控えるべき！！



【城間幹子氏】

一方、同日投開票された宜野湾市長選挙では、政府・与党が支援する松川候補が、オール沖縄の仲西候補を破る残念な結果となりました。当面は、10月14日告示、同21日投開票で行われる那覇市長選挙において、「オール沖縄」候補として立候補する城間幹子氏（現那覇市長）の再選が最大の焦点となっています。

がんばろう一緒に！日本中が応援団！